



第23回日本心療内科学会総会・学術大会 ランチオンセミナー 3

日時

2018年**11**月**24**日(土) 12:00~13:00

会場

第**2**会場 札幌コンベンションセンター 1階(107+108会議室)
札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

フレイルと人参養栄湯 —最近の基礎及び臨床研究を中心に—

座長

独立行政法人労働者健康安全機構 中部労災病院
心療内科部長・勤労者メンタルヘルスセンター長
藤田医科大学医学部 客員教授

芦原 陸 先生

演者

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科
漢方薬理学講座 特任教授

乾 明夫 先生

本大会のランチオンセミナーは整理券制ではございません

共催：第23回日本心療内科学会総会・学術大会
クラシエ 薬品株式会社

フレイルと人參養栄湯

—最近の基礎及び臨床研究を中心に—

高齢化の進む我が国において、サルコペニア(骨格筋萎縮)を基礎としたフレイル(frailty)が注目されている。人參養栄湯はがん緩和医療などに広く応用されてきたが、食欲促進、疲労やサルコペニア改善など、フレイル症状への有用性が期待される。

人參養栄湯の構成生薬では、人參や人參サポニンのギンセノシドによる疲労、抑うつ軽減、骨密度の増加、動脈硬化(アテロームプラーク)の縮小、認知機能や老化徴候の改善、前立腺肥大の抑制など、多彩で興味ある作用が報告されている。人參以外にも、白朮(アトラクチレノリドⅢ)や遠志(テヌイゲニン)によるエネルギー代謝改善・神経保護作用や認知・情動(抑うつ)への好影響が報告されている。黄耆(アストラガロシド)は高分子型アディポネクチン(活性型)を増加させ、インスリン感受性を亢進させる。五味子(シザンドリン)は骨格筋代謝の重要因子 PGC-1 α を介して疲労を改善し、運動能力を増大させる。また、内因性エストロジェンシグナリングを改善する。陳皮(ヘスペリジン・ナリルチン)は神経保護作用を有し、老化に伴う脱ミエリン化や認知機能を改善する。陳皮、茯苓(パキマ酸)、甘草や人參由来成分は、グレリン-神経ペプチド Y (NPY) シグナリングを改善する。これらの生薬は、骨髄の造血系や間葉系幹細胞への刺激作用が知られ、臓器組織の修復再生に関わるものと考えられる。

本講演では、健康長寿に及ぼす人參養栄湯の作用に関し、最近の基礎及び臨床研究の進歩を中心に述べてみたい。



略歴 乾 明夫 (いぬい あきお) 先生

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授

1978年 3月	神戸大学医学部卒業
1978年 6月	神戸大学医学部附属病院医員(研修医)に任用
1984年 7月	神戸大学医学部助手に任用
1997年 12月	神戸大学医学部附属病院講師に任用
2000年 1月	神戸大学医学部助教授に任用
2001年 4月	神戸大学大学院医学系研究科 応用分子講座 消化器代謝病学分野(旧二内科) 助教授に任用
2004年 10月	神戸大学病院 糖尿病代謝内科診療科長に任用
2005年 1月	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 社会・行動医学講座 行動医学分野(現心身内科学分野)教授 及び 鹿児島大学病院 呼吸器・ストレスケアセンター 心身医療科診療科長に任用
2009年 4月	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻長に任用
2012年 7月	鹿児島大学病院 漢方診療センター長に任用
2018年 4月	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授に任用
	現在に至る

専門・指導医 日本内科学会指導医・認定医、日本心療内科学会専門医、日本消化器病学会指導医・専門医
日本内分泌学会指導医・専門医、日本老年医学会指導医・専門医、日本肥満学会専門医